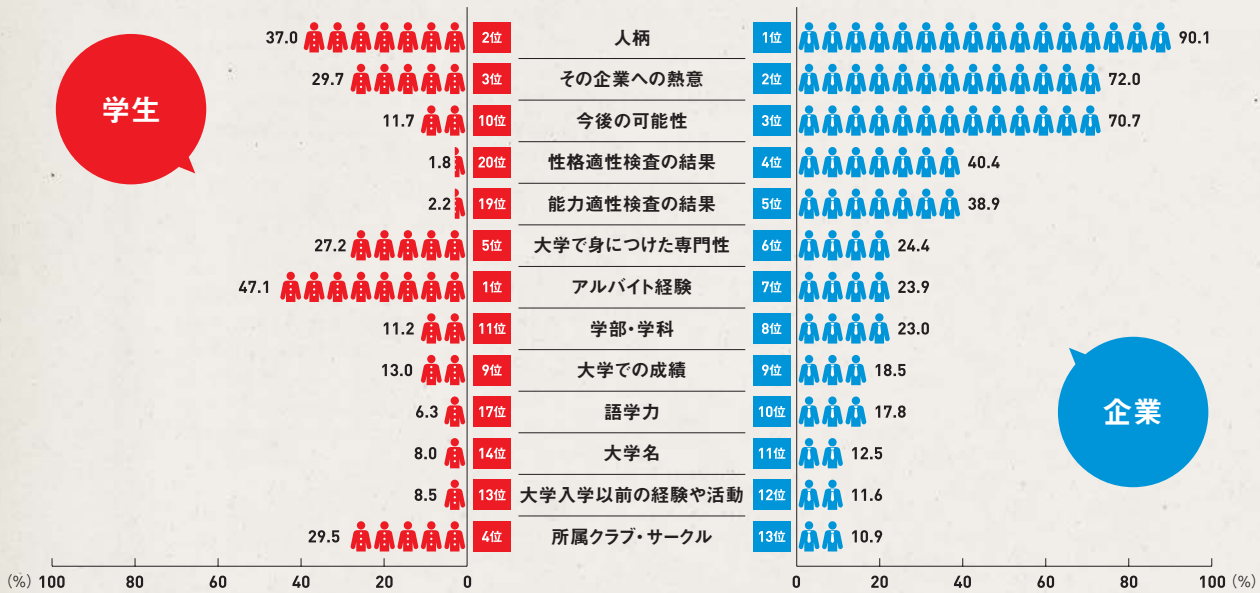


大卒者の採用現場は今どうなっている？

採用する企業側と就職活動をする学生側、双方に調査を行った「就職白書2012」。
その中から、就業環境の理解に役立つデータをピックアップしました。

学生のアピールとくい違う、採用時の重視ポイント

●学生がアピールした項目&企業が採用で重視する項目

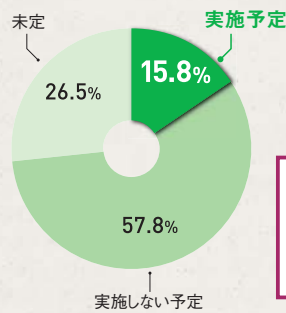


※22項目のうち企業回答(複数回答)の上位13項目のみ掲載

採用の評価ポイントにおいて、企業と学生の認識には大きなズレがある。学生が最もアピールしたのは「アルバイト経験」だが、企業はそれほど重視していない。「所属クラブ・サークル」にも同様のギャップが見られる。一方、企業が最も重視しているのは「人柄」で9割を超える。多くの学生がアルバイトやクラブなどでの自分の経験をアピールしているが、経験そのものよりも、その経験におけるエピソードを通じ、自分の人柄を伝えられることが大事なようだ。

目立ち始めたグローバル採用

●[2013年卒]企業に聞いた海外の大学・大学院を卒業する外国人学生の採用の実施予定

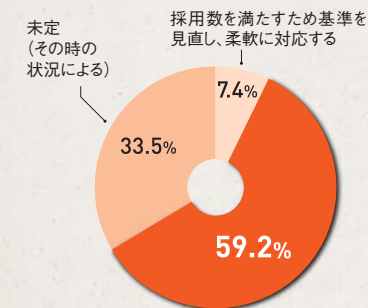


【2012年卒実績】
海外の大学・
大学院を卒業する
外国人学生の採用
2.4%

グローバル化を意識した大学の秋入学が話題だが、企業の採用現場でもグローバル化が進んでいる。海外の大学・大学院を卒業する外国人学生の採用を、2013年卒生に対しては15.8%の企業が実施する予定。ちなみに「日本の大学・大学院を卒業する外国人留学生の採用を実施予定」の企業は33%だ。

数より質の確保を重視する、厳選採用が一般的

●採用数に満たなかった場合の企業の対応



採用数に満たなくても
求める人材レベルは下げない

出典：リクルート「就職白書2012」

【企業調査】2012年卒および2013年卒(大学生・大学院生)の採用活動振り返り調査/調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業 3,000社/集計対象：776社(回収率25.9%)
【学生調査】2012年卒生(大学4年生・大学院2年生)の就職活動振り返り調査/調査対象：クロス・マーケティング社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女2,464名を対象にした/集計対象：874人(回収率35.5%)